児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2023年 2月 1日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」 武蔵新城校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		各支援スペースをパーティションで区分しています。	児童の特性と支援内容に合わせて個別療育ができる環境設定をしています。
	②	職員の配置数は適切である	○		各職員が、児童に適切に関わるようにしています。	今後も法令を遵守した職員配置をしていきます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		個室ではなく、セミオープンな空間において、可能な限り本人の特性に配慮を行っています。	安全・安心して支援に取り組める環境であるよう、教室全体で取り組みます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎日清掃をおこない、心地よい活動環境を心掛けています。	今後も支援を心地よく受け入れていただけるよう、教室全体で取り組みます。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		毎日、職員全員でミーティングを実施しています。	業務改善のため、全員 PDCA サイクルに参画できるようにしています。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		評価表の結果をもとに会議を開き、保護者様の意向を把握しています。	今後も保護者様の意向を踏まえて、業務改善に努めて参ります。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		毎月、事業所評価活動に取り組んでいます。	結果を毎年ホームページにて公開しております。今後も事業所評価活動を継続していきます。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	神奈川県による第三者評価項目を基に、事業所内で月1回、独自の評価活動を継続しています。	今後、必要に応じて第三者による外部評価を検討していきます。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		外部巡回講師の研修を受けています。また、発達支援研究所主催の定例研修も受けております。	資質や技術の向上を常に意識して取り組んでまいります。
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		支援時の様子や、各発達検査の結果などをふまえ、アセスメントをしています。	今後も、利用者様の課題を客観的に分析した支援計画を作成していきます。

適切な支援の提供	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		発達段階に応じて放デイの方に児発の内容で実施することもあります。	法人が定めたアセスメントシートを使っています。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		支援時の様子や保護者様との振り返りをもとに、支援計画の内容を具体的に設定しています。	個別を中心にした支援計画のため「発達支援(本人支援及び移行支援)」が主となります。可能な範囲で「家族支援」、「地域支援」にも触れていきます。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		お子さまの特色・性格によって計画内容を個々で変えています。	今後も個々の支援計画に沿った支援をしていきます。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		会議の際に、各指導員から意見を出し合っています。	各意見を集約して、活動プログラムを立案していきます。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		支援のねらいに対して、中心と、周辺領域に広がりを持つ支援となるよう配慮しています。	今後もその時の発達段階に応じた活動となるよう、配慮と工夫をしていきます。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○	○		今年度の小集団（集団活動）も、コロナウイルス感染対策もあり、実施しませんでした。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日、午前の時間帯で、職員全員でのミーティングをおこなっています。	今後も毎日のミーティングを継続していきます。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		翌日、もしくは当日の支援の振り返りにミーティングで情報共有をしています。	必要に応じて、早めに共有が必要な事項は、迅速に打ち合わせをおこなっています。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		情報共有すべきことを記録するようにしています。	日々の業務において支援の質の向上・さらなる改善ができるよう努めて参ります。
	⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		最長でも6か月以内に実施し、現状に即した計画づくりをしています。	今後も定期的に、個々の状況に即したモニタリングを行っていきます。
関係機関や	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○	○		今年度は該当ありませんでした。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○	○	保護者様の要望に極力応えられるようにしています。	可能な限り、連携した支援をしていきます。

保護者との連携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		今年度は該当ありませんでした。
	㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		今年度は該当ありませんでした。
	㉒	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	保護者様の要望に応じて、可能な範囲で行います。	可能な限り、情報共有と相互理解を図っていきます。
	㉓	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	保護者様の要望に応じて、可能な範囲で行います。	可能な限り、情報共有と相互理解を図っていきます。
	㉔	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	発達支援研究所主催の児童の作品募集にも、希望によって参加しております。	発達支援研究所と連携を取り、適宜、助言を受けられる体制となっています。
	㉕	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		コロナウイルス感染対策もあり、機会がありませんでした。
	㉖	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		現状で、参加する機会がありません。
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	保護者様とのお話の中で、今後の支援に必要な内容を考慮していきます。	毎回支援後の振り返りをして、保護者様との共通理解の場を設けています。
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		支援後の振り返りやご要望により、個別相談で保護者支援をしています。
	保護者への説明責任等	㉙	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	契約時に、特に理解が必要な内容についてを、より丁寧に説明するようにしています。
㉚		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○	支援計画を示しながら内容を説明し、保護者様に同意を頂いております。	今後も児童発達支援ガイドラインに基づき、支援計画の作成を行い、保護者様にしっかり内容を説明し、同意を得てまいります。
㉛		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	支援の振り返りの際、必要に応じた内容で行っています。	保護者様の要望に応えるよう努めています。
㉜		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		現状では、保護者様同士の連携支援は実施しておりません。

	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談や申し入れについては迅速に対応する体制を取っており、苦情受付窓口も設置しています。	今後も子どもや保護者様からの相談や申し入れについては、迅速かつ適切な対応をしていきます。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		ブログやメール・LINE を通して、その都度活動のご案内をおこなっております。	おもに教室内掲示物で情報発信をしています。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	○		契約時の「個人情報に関する同意書」に基づいて、個人情報の取扱いに十分に注意しています。	今後も個人情報の取り扱いには、各職員で細心の注意を払います。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		電話やメール・LINE にて連絡を入れるなど、個別対応をしています。	今後も子どもや保護者様の要望に合わせて、個別対応をしていきます。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		地域住民を招待する行事は実施しておりません。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		毎月 1 回、訓練を実施しています。	職員は各マニュアルの内容を充分把握したうえで事業所の運営に当たります。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		毎月 1 回、訓練を実施しています。	今後も定期的に必要な訓練を実施していきます。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		ご入室の際の検温時に体調や最近の様子をお聞きしております。	利用者様ごとに情報シートを作成しています。服薬などの状況を確認して支援に当たります。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		食事の提供はおこなっておりません。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		記録ごとをまとめて事例集として、職員で共有して危機管理に努めています。	ヒヤリハットの記録を欠かさずおこなって、危機管理に生かしています。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		年 1 回以上、虐待防止・人権擁護の研修を受けています。	今後も職員の研修の機会を確保していきます。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○	現在該当はありませんが、身体拘束の必要がある場合は必ず個別支援計画に記載します。	今後、組織的に決定した事項を保護者に丁寧に説明していきます。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者様等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2023年 2月 1日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」 武蔵新城校 保護者等数（児童数）：15 回収数：15 割合：100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13	2	0	0		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	15	0	0	0		
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	15	0	0	0	・安全・安心して支援に取り組める環境であるよう、教室全体で取り組んでおります。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。 また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	14	0	1	0	「出入口の所が、くつ場所とスリッパの場所が曖昧で、衛生面が気になる」	外靴と室内のスリッパが混在しないように改善策を考え、善処いたします。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	15	0	0	0		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	12	0	0	3		・お子様の支援時の様子や保護者様との振り返りをもとに、その時ごとのニーズに即した支援計画の内容を具体的に設定しております。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	15	0	0	0		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	13	2	0	0		・お子様ごとに、発達段階に応じた活動となるよう、配慮と工夫しております。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	7	5	2		
保護者への	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15	0	0	0		・利用者負担（ご請求）や支援の運営につきまして、わかりやすい説明を心がけております。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	13	1	1	0		

説明等	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	8	1	3	3	・ご希望により、個別相談にて保護者様への支援もおこなっております。	
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	15	0	0	0		
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14	1	0	0	「とてもわかりやすく説明・助言して下さります。」	今後も、皆様にわかりやすく伝えられますよう、意識いたします。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	4	4	5		
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	14	1	0	0	「子どもの発達のことで相談をした時に、翌週には調べて頂いた結果をフィードバックして下さり、助かりました」	ありがとうございます。各ご相談に対して、極力早い段階でお答えできるよう、努めてまいります。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15	0	0	0		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	9	1	1	4	「今後の参考に、放デイの活動をわかりやすく発信してほしい」	校舎のブログや会報等、発信のツールを利用して、各活動についての紹介や報告を行ってまいります。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	15	0	0	0		
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	7	2	1	5		
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	2	1	7		・定期的に防災訓練を実施しております。実施の様子をブログなどでの発信で周知していきます。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	15	0	0	0	「先生方が丁寧に対応して下さる」「毎回遊びを通して楽しく受けられています」、「毎回楽しみ（2名）」	ありがとうございます。お子様に「またきりに来たい・またやりたい」と前向きに思っただけよう、一生懸命務めてまいります。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	15	0	0	0	「子のやりたい・好きな事を受け入れ、楽しませて頂いています。親も、対応も色々学ばせてもらっています」	ありがとうございます。お子様を安心して任せいただけるよう、今後も精進してまいります。

（無回答は「どちらともいえない」に含みます）

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。